職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 校長名											
東京スクールオン ジック専門学校		平成13年10月2	9日 山本敬史	〒150-(東京都	0002 渋谷区渋谷2丁目 (電話)03-368	19番21号								
設置者名	i	設立認可年月	日 代表者名			所在地								
学校法人滋園	学園	昭和58年12月2	3日 浮舟 邦彦	〒134-6 東京都	0084 江戸川区東葛西6 (電話)03-5878	i丁目16番2号 8-3311								
分野	13 M	定課程名	認定的			専門士	高原	 専門士						
文化・教養	文化・	教養専門課程	音楽テクル (昼間			平成28年文部科学行 告示第19号	省							
学科の目的	を目指す	•	要な音楽的知識及び、パフォ-	ーマンスナ	」を構築し、メディア	、舞台、映画、などエンター	テイメント業界の即戦	戦力となる人材育成						
認定年月日	平成28年	-2月19日 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位			ud-777									
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数 114	講義 291		演習 304	実習 84	実験	実技						
生徒総定	昼間	 			 専任教員数	兼任教員数	4/3	単位 教員数						
80人	Į.	生徒実員	留学生数(生徒実員の内 6人		5人 5人	34人		39人						
80人		// //	0.7		37		 有	39人						
学期制度		(前期):4月1日~ (後期):10月1日~			成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方: 学業成績は、授業科目ご によって評価される。本材 として、60点以上を合格と より、100〜90をA、89〜8((不合格)として成績が通:	法 とに行う試験(定期記 をでは各授業の評価を している。合格者の 0をB、79~70をC、69	を100点満点を基準 中でも評価点数に						
長期休み	■夏 季	::3月14日~4月7 ::7月21日~8月3 ::12月23日~1月	1日		卒業·進級 条件	学期ごとに試験を行い、ま 行う。科目の成績評価及 進級、課程修了の認定を 習、実習の成績によって何	び進級・卒業判定会 行う。ただし、演習、	議の審議に基づき、 実習については演						
学修支援等	■クラス ■個別相 担任る。 業を し、よ	無												
就職等の 状況※2	株エス、 ・ 就望ポース ・ 就望ポース ・ 就望ポース ・ 一文 ・ 一文 ・ 一文 ・ 一文 ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	クス株式会社、株 会社ローソンHM 旨導内容 いはキャリアセンタ 情数 ・ 管数 ・ 管数 ・ 管数 ・ 管数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	会社エム・エス・アイジャパ: 式会社ソニーミュージック・ (エンタテイメント (一による進路相談の他、履	アクシ	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	資格・検定名 なし ※種別の欄には、各資格・核 該当するか記載するか。記載するか。記載するか。役 国家資格・検定のうち、修 ②国家資格・検定のうち、修 ③その他(民間検定等) ■自由記述欄	平業者に関する令和元4 一受験者数 一受験者数 会定について、以下の() 子と同時に受験資格を アと同時に受験資格を	合格者数 □ ○ ③のいずれかに はもの						
中途退学 の現状	平成30年 平成31年 ■中途は 経済的理 ■中退限 担任によ	4月1日時点におい 3月31日時点におい 8学の主な理由 里由、病気・治療、 方止・中退者支援の たる個人面談の他	いて、在学者74名(平成30年 いて、在学者63名(平成314 学生生活不適合、進路変更 のための取組 、保護者を含めた三者面談	4月1日入 〒3月31日 更 で学生 村	学者を含む) 卒業者を含む)									
経済的支援 制度	※有の ^は ■専門3	虫自の奨学金・授: 場合、制度内容をi 実践教育訓練給付 対象の場合、前年	記入		載									
第三者による 学校評価	※有の均		第三者評価: 無 こついて任意記載 価結果又は評価結果を掲載	載したホ-	ームページURL)									
当該学科の ホームページ URL	https://	www.shibuya.ac.jp	/school/public_info/index.h	itml										

(留意事項)
1. 公表年月日(※1)
最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空棚としてください

2. 熟職等の状況(※2) 「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」とは「学校基本調査」における定義に従います。 (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

(1)「人子・鬼物人子・高寺寺门子校及心与寺学女学来ア生春の地域、NRE-14人が向宜」における。熱場中は同た報について 切了就職率引きたいた。 ②「就職者「三ついては、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。 ②「就職者望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません。 ③「就職者」とは、正規の職員、雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい

います。

います。
※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
②「京職」とは給料、資金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしなどいく説職したが就職たが不成就職先が不成職者といる状況。
(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

3. エはナラル本、パロ/ 認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と 同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的 な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

音楽・エンタテインメント業界において、人に感動や喜びを与えられる人材としての即戦力が身に付けられるよう、職業人教育を実施していくために、業界が必要とする人材を業界と共に育成する、産学協同教育システムのもと、すべての教育課程を編成している。

具体的には主に次の3つを基本方針としている。

- 1.専任教員と業界で現役として活動している兼任教員による講師会議にて、現在の在学生の状況を踏まえ、業界に求められる即戦力を育成するための方策を検討、授業内容の改善を図る。
- 2.普段は授業等で学生と関わらない、第3者として助言を受けることで、学生の現状を切り離した業界からの要望を把握するため、教育課程編成委員会を設置。業界動向や、業界の方の意見、要望などを取り入れ、授業内容の見直しや授業方法の改善・工夫等を行う。
- 3.学校主催の合同企業説明会への参加企業、業界研修の受け入れ先企業、授業への企業課題の提供をいただいている 企業から情報提供を得て、今後求められる即戦力を把握。授業内容の改善に活かす。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会は、理事会のもとで各校ごとの委員会が設置され、(添付教育課程編成委員会規程参照)、委員会の適切な運営は理事長が担保する。また、学校運営においては、教員組織規則において、「委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報、意見を充分に活かし、実績的かつ専門的な職業教育を実施するにふさわしい教育課程の編成に努める」ことが明記され、この定めに従い、委員会を運営する。

具体的には次の流れで教育課程を作成する。

教務部が学生の学習状況や学生の目指す業界の状況から原案を作成する。原案は第1回教育課程編成委員会にて吟味し、業界事情を鑑みた指摘事項を教務部に提示する。指摘事項を元に再度教務部にて調整を行い、第2回教育課程編成員会にて確認を受ける。その後、学校長の承認をもって最終決定となる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年7月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
明地 権	一般社団法人 日本音楽スタジオ協会	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	1
小林 玄	ICHIZA 株式会社	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	3
横山 元一	株式会社 プラナ	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	3
山本 敬史	学校法人 滋慶学園 東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	
斎藤 幸江	学校法人 滋慶学園 東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	
北澤 和宏	学校法人 滋慶学園 東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	
西片 悠人	学校法人 滋慶学園 東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	
滝波 栄一郎	学校法人 滋慶学園 東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	
相原 充伸	学校法人 滋慶学園 東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 10月および3月に実施

(開催日時(実績))

第1回:2018年9月26日(木)14:30~16:00 第2回:2019年3月6日(水)11:00~12:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

第1回の委員会で頂いた意見に基づきカリキュラムを作成。第2回の委員会にて報告し、承認を経て以下のように改定し、 実施している。

- ・モデルカリキュラムを作成し学生の取捨選択を支援する。
- ・音楽知識や著作権等の権利の問題、時事問題等を重視する。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界が求める人材を業界とともに育成する「産学連携教育」を基本方針とし、専門技術・知識、並びに人間力を持ち合わせた人材の育成を行うため、企業から仕事を課題としていただく「企業プロジェクト」を通して実践的な授業を展開する他、現場の第一線で活躍するプロに兼任教員を依頼するなど、授業内容を業界関係者と共に企画立案し、その実施・達成度評価を行う。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

<プロジェクト概要>

【目的】

コンサート制作現場に於ける、音響としての技術や知識の習得を目指す。

【プロジェクト内容】

コンサートを制作する段階を一から学び実際に制作を行う。

【連携内容】

企業は業界視点で学生の課題を発見し、必要な情報を提供することでプロのクオリティに近づくアドバイスを行う。 学校はプロジェクトが円滑に進むよう、コンセプトの決定やミーティング及び制作スケジュールの管理、与えられた課題へ の学生フォローを行う。

<評価方法>

【学校】作業報告書を元にスケジュール管理、習熟度を評価。

【企業】制作工程及び現場に於ける進捗状況にて作業効率を評価。

【その他】イベントレポートを通じても習熟度を評価。

実施期間: 平成30年4月20日~9月30日

企業評価日:平成30年9月15日 学校評価日:平成30年9月30日

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名 科目概要 連携企業等 コンサート制作演習 学内外の様々な実践現場を通して、PAスタッフに必要な 技術や現場力を習得する。 株式会社フライアウト企画		
	件日石	連携企業等
	コンサート制作演習	株式会社フライアウト企画

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学園の定める教職員規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めている。

昨年度においては、業界の現状と動向についての把握と具体的な必要とされるスキルを学ぶ研修、および中途退学者防止に向けた「学生一人ひとり」に対する対応策の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを展開することを年間の教育活動の中心とし、以下の要素が年間の授業内容に反映されるよう研修を行った。

- ① キャリア教育の視点
- ② カリキュラム改善、教育技法の改善
- (2)研修等の実績
- ①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「春季講師研究会」(連携企業等:有限会社クリアー、ireco株式会社、エイベックス株式会社)

出席者数:29名(うち専任教員数5名、兼任教員数24名)(全専任教員数5名、全兼任教員数34名)

期間:3月17日 対象:全教員

内容:「マネジメント理論」「楽曲制作」「デジタルマーケティング」をテーマに研修を実施。

研修名「秋季講師研究会」(連携企業等:有限会社クリアー、ireco株式会社、株式会社チームアクティブ)

出席者数:33名(うち専任教員数5名、兼任教員数28名)(全専任教員数5名、全兼任教員数34名)

期間:9月19日 対象:全教員

内容:「マネジメント理論」「楽曲制作」「イベント制作概論」をテーマに研修を実施。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「春季講師研修会」(連携企業等:ダンススクウェア 劇団青年座)

出席者数:29名(うち専任教員数5名、兼任教員数24名)(全専任教員数5名、全兼任教員数34名)

期間:3月18日 対象:全教員

内容:キャリア教育支援を強化するため、現在の若者が抱く職業観と現実のギャップを考える研修を行った。

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「春季講師研究会」(連携企業等:有限会社クリアー、ireco株式会社、エイベックス株式会社)

出席者数:39名(全専任教員数5名、全兼任教員数34名)

期間:3月20日 対象:全教員

内容:業界の動向と専門分野における実務に関する知識・技術・技能について実施する。

研修名「秋季講師研究会」(連携企業等:有限会社クリアー、ireco株式会社、株式会社チームアクティブ)

|出席者数:33名(うち専任教員数5名、兼任教員数28名)(全専任教員数5名、全兼任教員数34名)

期間:9月21日 対象:全教員

内容:業界の動向と専門分野における実務に関する知識・技術・技能について実施する。

②指導力の修得・向上のための研修等

|研修名「春季講師研修会」(連携企業等:ダンススクウェア 劇団青年座)

出席者数:39名(全専任教員数5名、全兼任教員数34名)

期間:3月19日 対象:全教員

内容:産学連携教育の重要性とその中での教員に求められる指導力についての研修を行う。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表しているこ と。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者代表、近隣関係者並びに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会 が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通じ、学校運営の改善に生かす事を方針と

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標 (2)学校運営	理念・目的・育成人材像 運営方針 事業計画 運営組織 人事・給与制度 意思決定システム 情報システム
(3)教育活動	目標の設定 教育方法・評価等 成績評価・単位認定等 資格・免許取得の指導体制 教員・教員組織
(4)学修成果	就職率 資格・免許の取得率 卒業生の社会的評価
(5)学生支援	就職等進路 中途退学への対応 学生相談 学生生活 保護者との連携 卒業生・社会人
(6)教育環境	施設・設備等 学外実習、インターンシップ等 防災・安全管理
(7)学生の受入れ募集	学生募集活動 入学選考 学納金
(8)財務	財務基盤 予算・収支計画 監査 財務情報の公開
(9)法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守 個人情報保護 学校評価 教育情報の公開
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献 ボランティア活動
(11)国際交流	
※(10)及び(11)については任意記載。	

(3)学校関係者評価結果の活用状況

職業人教育を通じて社会に貢献できるよう、健全な経営基盤を持つ学校運営を目指す。そのために、学校評価委員会の委員からの意見を踏まえて、教育活動・環境の充実や学生支援の強化などの改善をしている。

具体的には、渋谷での地域貢献について評価とより一層の要望があったため、ゴミ拾い等のボランティア活動の活発化を推進する取り組みを実施した。

また機材については修理対応すべきもの、新規導入すべきものを精査し、対応する計画を立てた。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年7月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
向田 優希	株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパン	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	卒業生代 表
目黒 英理子	保護者	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	保護者代 表
菅野 英雄	渋谷宮益商店街振興組合	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	地域関係 者
池田 正義	一般社団法人 日本音楽制作者連盟	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者
西川 進	株式会社 スマッシュルーム	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者
今井 正喜	株式会社クレッセ	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者
明地 権	一般社団法人日本音楽スタジオ協会	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者
松原 憲	有限会社スーパーラブ	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者
小林 玄	ICHIZA株式会社	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者
平野 智也	株式会社サウンドキューブ	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者
横山 元一	株式会社 プラナ	2019/4/1~2021/3/31 (任期2年)	業界関係 者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その他())

URL: http://www.shibuya.ac.jp/information/public_info/index.html

公表時期:令和1年9月1日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページによる情報公開の他、学校主催の合同企業説明会や卒業・進級制作展などのイベント時での説明会、卒業 生の就職先やインターンシップ等受け入れ先への直接訪問によって情報提供を行う。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

	対 7 675 11 7 12 107 項目 C 07 71 76
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要 沿革 建学の理念 学校安全関連
(2)各学科等の教育	受入方針 定員 カリキュラム 卒業判定基準 卒業と同時に取得する称号
(3)教職員	教職員数 教員の業績
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み 産学連携教育
(5)様々な教育活動・教育環境	校舎設備紹介 海外実学研修
(6)学生の生活支援	中途退学防止への取り組み 健康管理
(7)学生納付金・修学支援	学費一覧 奨学金・教育ローン案内
(8)学校の財務	財務資料
(9)学校評価	学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	留学生支援 留学生の受入状況 外国の学校等との交流状況
(11)その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法 (ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: http://www.shibuya.ac.jp/information/public_info/index.html

授業科目等の概要

【(文化・教養専門課程 音楽テクノロジー科2年制(昼間部二)) 分類															
	カ規				-	授		ÍΧ	木刀	実	场	ולו	叙	只	企
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	業時数	単位数	講義	演習	験		校 外		兼任	業等との連携
0			キャリア教育 1	社会人基礎知識、ビジネスマナー、就職活動アドバイス、 様々なイベントの準備、企業の方によるセミナー等を実施す る。	1	30	2	0		权	0		0		0
0			キャリア教育 2	実践的なビジネスマナーを身に付け、様々なイベントへの参加、企業の方によるセミナー等を主体的に就職活動が行えるよう実施する。	1	30	2	0			0		0		0
0			キャリア教育3	社会人基礎力を具体的に発揮し、主体的に就職活動や様々な イベントへの参加、企業の方によるセミナー等を実施する。	2	30	2	0			0		0		0
0			キャリア教育4	社会に出る上での基本的なマナーの定着、2年間の振り返りを 行い、自己を見つめ直すPDCAを学ぶ。	2	30	2	0			0		0		0
0			PCスキルアップ1	Word、Excel、Power Pointの基本的な操作法を習得する。	1	30	2	0			0			0	
0			PCスキルアップ2	Word、Excel、Power Pointの基本的な操作法を習得し、実践に活かせるようにする。	1	30	2	0			0			0	
	0		舞台知識1 (A)	舞台に関かわるスタッフに必要な専門用語や舞台制作の基礎 知識を学ぶ。	1	60	4	0			0			0	
	0		舞台知識 1 (B)	舞台に関かわるスタッフに必要な専門用語や舞台制作の基礎 知識を学び、現場に活かせるようになる。	1	30	2	0			0			0	
	0		舞台知識 2 (A)	舞台に関かわるスタッフに必要な専門用語や舞台制作の基礎 知識を学ぶ。	1	60	4	0			0			0	
	0		舞台知識 2 (B)	舞台に関かわるスタッフに必要な専門用語や舞台制作の基礎 知識を学び、現場に活かせるようになる。	1	30	2	0			0			0	
	0		ミュージックセオリー(A)	音楽の言語となる理論を、音楽コミュニケーションの基本から学び、読譜ができるまでを養う。	1	30	2	0			0			0	
	0		イヤートレーニング(A)	音楽理論を耳で理解し、音程感やリズム感を養う。	1	30	2	0			0			0	
	0		ミュージックセオリー(B)	音楽の言語となる理論を、音楽コミュニケーションの基本から学び、読譜ができるまでを養う。	1	30	2	0			0			0	
	0		イヤートレーニング(B)	音楽理論を耳で理解し、音程感やリズム感を養う。	1	30	2	0			0			0	
	0		PCスキルアップ3	Word、Excel、Power Pointの基本的な操作法を習得し、実践 に活かせるようにする。	1	30	2	0			0			0	

0	音楽史(洋楽)		邦楽に関する知識を、楽曲、アーティスト、ファッション、 時代背景等様々な角度から考察し、ルーツや歴史を学ぶ。	1	30	2	0		0	С	
0	イベント制作運営	寅習 1	学内イベントを通じ、企画/舞台制作、運営、動員などセクション別に業務を担当し、実践的に技術を習得する。	1	90	6		0	0	С	
0	イベント制作運営》	演習 2	より発展的なイベント運営を学内のイベント通じて学び、他者に働きかけることが出来るようにコミュニケーションを図れることを学ぶ。		60	4		0	0	С	
0	DTP 1		イラストレーター・フォトショップの基本的な操作方法を学 ぶ。	1	30	2	0		0	С	
0	DTP 2		イラストレーター・フォトショップの基本的な操作方法を学 び、実践に活かせるようにする。	1	30	2	0		0	С	
0	チーム制作プロ ジェクト 1 (前期 分) チーム制作プロ		「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。	1	90	6		0	0	C	
)	ジェクトA チーム制作プロ ジェクト 2 (前期 分)		「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。	'	30			O	J		
		チーム制作プロ ジェクト3(後期 分)	「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。								
0	チーム制作プロ ジェクトB	チーム制作プロ ジェクト4(後期 分)	「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。	1	90	6		0	0	С	
	チーム制作プロ ジェクト5(後期 分)										
0	イベントプロデュ-	- ス 1	コンサート制作に必要な知識とスキルを学びます。企画書作成から、全国の小屋情報、チケッティングの仕組みなども学ぶ。		1 30) 2	0		0	С	
0	イベントプロデュ-	- ス2	コンサート制作に必要な知識とスキルを学びます。企画書作成から、全国の小屋情報、チケッティングの仕組みなども学び、、実践的に応用する。		1 30) 2	0		0	С	
0	音楽業界知識 1		音楽業界の仕組みから、必要なマナーや就職するために見に つけておきたいスキル等を学ぶ。		1 30	2	0		0	С	
0	音楽業界知識 2		音楽業界の仕組みから、必要なマナーや就職するために見に つけておきたいスキル等を学ぶ。より発展させる。		1 3(2	0		0	С	
0	楽器知識 1 (A)		ドラムやギター、ベースなどの楽器についての基礎知識を学び、ドラムセットの組み方等を習得する。		1 3(2	0		0	С	
0	楽器知識 2 (A)		ドラムやギター、ベースなどの楽器についての基礎知識を学 び、ドラムセットの組み方等を習得する。		1 30	2	0		0	С	
0	プランニング&プ!	レゼンテーション 1	コンテンツ作成において必要な企画を様々な視点で行い、そ の企画を通すための資料制作、ブレゼンテーション能力につ いて指導する。		1 60) 4	0		0	С	
0	プランニング&プ	レゼンテーション 2	コンテンツ作成において必要な企画を様々な視点で行い、その企画を通すための資料制作、プレゼンテーション能力について指導する。		1 60	4	0		0	С	

		文章基礎 1		原稿作成に必要となる文章力の基礎を徹底的に養う。	1	60	4	0			0	0	
C)	文章基礎 2		文章力の基礎をより発展させた形で発揮できる	1	60	4	0			0	0	
)	Webコンテンツ制作	1	Webコンテンツ制作を通して基本的な雑誌のデザイン、構成等の編集作業をチームで行い、PCスキル、企業対応スキル等を習得する。	1	60	4	0			0	0	
C)	Webコンテンツ制作	2	Webコンテンツ制作を通して基本的な雑誌のデザイン、構成等の編集作業をチームで行い、PCスキル、企業対応スキル等を習得する。	1	60	4	0			0	0	
		Webコンテンツ制作	3	Webコンテンツ制作を通して基本的な雑誌のデザイン、構成等の編集作業をチームで行い、PCスキル、企業対応スキル等を習得する。	1	60	4	0			0	0	
C)	Webコンテンツ制作	4	Webコンテンツ制作を通して基本的な雑誌のデザイン、構成等の編集作業をチームで行い、PCスキル、企業対応スキル等を習得する。	1	60	4	0			0	0	
C)	DTM Basic 1		コンピュータソフトを使用して音楽制作を行なうために、DAW ソフトLogioを通して操作方法を習得する。MIDIの基本的な概 念も学ぶ。		30	2	0			0	0	
(0	DTM Basic 2		コンピュータソフトを使用して音楽制作を行なうために、DAW ソフトLogioを通して操作方法を習得する。MIDIの基本的な概 念も学ぶ。		30	2	0			0	0	
()	Protools Basic 1		D A WシステムのスタンダードであるProTools (LE)のオペレーションの基本を習得する。レコーディングエンジニア、D A Wオペレーター、M A エンジニア等が必須である。	1	30	2	0			0	0	
(0	Protools Basic2		D A WシステムのスタンダードであるProTools (LE)のオペレーションの基本を習得する。レコーディングエンジニア、D A Wオペレーター、M A エンジニア等が必須である。	1	30	2	0			0	0	
(0		PA Basic 1	現場で必要なPAの技能の基本を学ぶ。仕込み、ばらしの基礎をマスターし、信号の流れをきちんと理解した上で、ミキシングオペレートの基本を学ぶ。	1	90	6		0		0	0	
(0		照明Basic 1	照明技術者として最も基礎的な知識及び技術・機材の扱い 方・プランニングについて実技で学ぶ。	1	60	4		0		0	0	
()		ムービングBasic 1	ムービングライトに関する基礎知識と技術を習得する。	1	60	4		0		0	0	
		-コンサートBasic 1	イベントスタッフ ワークBasic 1	学校主催の様々なイベントに向けて、企画制作、舞台制作、 運営、動員などセクションに分かれて業務を担当し、実践的 に技術を習得する。	1	60	4		0	(0	0	
		- 1 J y Pibasio I	舞台監督演習Basic 1	舞台監督に要求される幅広い舞台制作の知識や基本的な技術 を学ぶ。	1	60	4		0	(0	0	
)		楽器リペア 1	楽器構造、素材の理解力をつけ、内部回線の電気知識も習得する。目利き力を高めるため、ビンテージ楽器などの知識も 習得する。	1	90	6		0	(Э	0	
)		楽器リペアBasic 1	ギターやベースなどの楽器に関する構造を学び、メンテナンス、リペアの知識を習得する。	1	60	4		0	(Э	0	
)		照明概論 1	照明技術者として基礎的な専門知識、光の効果、電気知識、 安全管理などについて学ぶ。	1	60	4		0	(Э	0	

С			PA Basic 2	現場で必要な P A の技能の基本を学ぶ。仕込み、ばらしの基礎をマスターし、信号の流れをきちんと理解した上で、ミキシングオペレートの基本を学ぶ。		90	6		0	0	0	
C)		照明Basic 2	照明技術者として最も基礎的な知識及び技術・機材の扱い 方・プランニングについて実技で学ぶ。	1	60	4		0	0	0	
С			ムービングBasic2	ムービングライトに関する基礎知識と技術を習得する。	1	60	4		0	0	0	
С		コンサートBasic2	イベントスタッフ ワークBasic 2	学校主催の様々なイベントに向けて、企画制作、舞台制作、 運営、動員などセクションに分かれて業務を担当し、実践的 に技術を習得する。	1	60	4		0	0	0	
С			舞台監督演習Basic 2	舞台監督に要求される幅広い舞台制作の知識や基本的な技術 を学ぶ。	1	60	4		0	0	0	
C			楽器リペア 2	楽器構造、素材の理解力をつけ、内部回線の電気知識も習得する。目利き力を高めるため、ビンテージ楽器などの知識も習得する。	1	90	6		0	0	0	
0			楽器リペアBasic 2	ギターやベースなどの楽器に関する構造を学び、メンテナンス、リペアの知識を習得する。		60	4		0	0	0	
0			PA ワークショップ 1	PAエンジニアに必要な仕込みやチューニング、オペレート 等、現場での知識や技術を実践を通して習得します。		##	8		0	0	0	
0		コンサートテク	照明ワークショッ プ 1	学内外の様々な実践現場を通して、照明スタッフに必要な技 術や現場力を習得する。		##	8		0	0	0	
0		ニック 1	舞台制作ワーク ショップ 1	学内外の様々な実践現場を通して、舞台監督や制作スタッフ に必要な技術や現場力を習得する。		90	6		0	0	0	
С				学内外の様々な実践現場を通して、楽器テクニシャンスタッ フに必要な技術や現場力を習得します。	1	90	6		0	0	0	
С			PA ワークショップ 2	PAエンジニアに必要な仕込みやチューニング、オペレート 等、現場での知識や技術を実践を通して習得します。	1	##	8		0	0	0	
C		コンサートテク	照明ワークショッ プ 2	学内外の様々な実践現場を通して、照明スタッフに必要な技 術や現場力を習得する。	1	##	8		0	0	0	
С		ニック 2	舞台制作ワークショップ2	学内外の様々な実践現場を通して、舞台監督や制作スタッフ に必要な技術や現場力を習得する。	1	90	6		0	0	0	
С				学内外の様々な実践現場を通して、楽器テクニシャンスタッ フに必要な技術や現場力を習得します。	1	90	6		0	0	0	
C)	舞台機構調整士 1		ホール管理者にとって重要な国家資格"舞台機構調整士3級" 取得を目指す。	1	30	2	0		0	0	
0		舞台機構調整士 2		ホール管理者にとって重要な国家資格"舞台機構調整士3級" 取得を目指す。		30	2	0		0	0	
0		音響電気知識 1		音響技術者としての基礎的な理論・知識について学ぶ。		30	2	0		0	0	

0	音響電気知識 2	音響技術者としての基礎的な理論・知識について学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	楽器知識 1 (B)	ドラムやギター、ベースなどの楽器についての基礎知識を学び、ドラムセットの組み方等を習得する。	1	30	2	0	0	0
0	楽器知識 2 (B)	ドラムやギター、ベースなどの楽器についての基礎知識を学び、ドラムセットの組み方等を習得する。	1	30	2	0	0	0
0	REC講座	レコーディングの基礎的な知識を学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	舞台美術概論	舞台美術に関する知識を過去の作品を紐解きながら学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	照明概論 2	照明技術者として基礎的な専門知識、光の効果、電気知識、 安全管理などについて学ぶ。	1	60	4	0	0	0
0	舞台制作概論 1	舞台制作全般に関する基礎的な知識を学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	舞台制作概論 2	舞台制作全般に関する基礎的な知識を学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	Vecter Works Basic 1	図面作成ソフト「Vectorworks」を使用しての立体及び平面図 面作成スキルを学ぶ。	1	60	4	0	0	0
0	Vecter Works Basic 2	図面作成ソフト「Vectorworks」を使用しての立体及び平面図 面作成スキルを学ぶ。	1	60	4	0	0	0
0	Global communication1	国際社会に対応すべく、コミュニケーションをとるための英 会話をネイティブスピーカーより学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	Global communication2	国際社会に対応すべく、コミュニケーションをとるための英 会話をネイティブスピーカーより学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	韓国語講座 1	国際社会に対応すべく、コミュニケーションをとるための韓 国語を学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	韓国語講座 2	国際社会に対応すべく、コミュニケーションをとるための韓 国語を学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	日本語講座 1	日本国内の職業に対応すべく、コミュニケーションをとるた めの日本語を学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	日本語講座 2	日本国内の職業に対応すべく、コミュニケーションをとるた めの日本語を学ぶ。	1	30	2	0	0	0
0	著作権 1	音楽ビジネスに必要な著作権の知識、権利関係及び業界のリ アルタイムな現状をグループワークを通して学ぶ。	2	30	2	0	0	0
0	著作権 2	音楽ビジネスに必要な著作権の知識、権利関係及び業界のリ アルタイムな現状をグループワークを通して学ぶ。	2	30	2	0	0	0

(0	著作権3		音楽ビジネスに必要な著作権の知識、権利関係及び業界のリ アルタイムな現状をグループワークを通して学ぶ。	2	30	2	0		0	0	
(0	著作権 4		音楽ビジネスに必要な著作権の知識、権利関係及び業界のリ アルタイムな現状をグループワークを通して学ぶ。	2	30	2	0		0	0	
(0	著作権 5		音楽ビジネスに必要な著作権の知識、権利関係及び業界のリ アルタイムな現状をグループワークを通して学ぶ。	2	30	2	0		0	0	
(0	音楽史(邦楽)		邦楽に関する知識を、楽曲、アーティスト、ファッション、 時代背景等様々な角度から考察し、ルーツや歴史を学ぶ。	2	30	2	0		0	0	
	0	イベント制作運営	寅習 3	学内イベントを通じ、企画/舞台制作、運営、動員などセクション別に業務を担当し、実践的に技術を習得する。	2	90	6		0	0	0	
	0	イベント制作運営	寅習 4	学内イベントを通じ、企画/舞台制作、運営、動員などセクション別に業務を担当し、実践的に技術を習得する。	2	60	4		0	0	0	
	0	チーム制作プロ	チーム制作プロ ジェクト 6	「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。	2	90	6		0	0	0	
		ジェクトC	チーム制作プロ ジェクトフ	「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。		90	0)			
			チーム制作プロ ジェクト 8	「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。								
	0	チーム制作プロ ジェクトD	チーム制作プロ ジェクト 9	「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。	2	90	6		0	0	0	
			チーム制作プロ ジェクト 1 0	「企画」「制作/進行」「宣伝」「運営」チームに分かれ、 イベント制作を実践的に行う。								
	0	PCスキルアップ4		Word、Excel、Power Pointのより高度な操作法を習得する。	2	30	2	0		0	0	
	0	PCスキルアップ5		Word、Excel、Power Pointのより高度な操作法を習得する。	2	30	2	0		0	0	
	0	タレントマネージ	メント1	芸能事務所の仕事に関する基本業務と必要な知識、スキルについて講義します。	2	30	2	0		0	0	
	0	タレントマネージ。	メント2	芸能事務所の仕事に関する自らの判断が出来るようになる為 の知識を講義します。	2	30	2	0		0	0	
	0	業界プレゼンテーション 1		企画やプロモーション時に必要となるプレゼンテーション力 を養う。	2	60	4	0		0	0	
	0	業界プレゼンテーション 2		自分の考えを様々なコンテンツを使用し、プレゼンテーショ ン出来る力を養う。	2	60	4	0		0	0	
	0	舞台知識Advance 1		コンサート制作スタッフやマネージャーに必要な舞台の知識 や技術を学び、より深く理解する。	2	60	4	0		0	0	

0	舞台知識Advance 2		コンサート制作スタッフやマネージャーに必要な舞台の知識 や技術を学び、より深く理解する。	2	60	4	0		0	0
0	Webデザイン1		ホームページ制作に関するソフトの操作方法、各種技術を学 ぶ。	2	60	4	0		0	0
0	プランニング&プレ	vゼンテーション 3	コンテンツ作成において必要な企画を様々な視点で行い、そ の企画を通すための資料制作、プレゼンテーション能力につ いて指導する。	2	60	4	0		0	0
0	プランニング&プレ	vゼンテーション 4	コンテンツ作成において必要な企画を様々な視点で行い、その企画を通すための資料制作、プレゼンテーション能力について指導する。	2	60	4	0		0	0
0	Webコンテンツ制作	5	高度なWebコンテンツの制作をチームで行い、応用スキルを習得する。	2	30	4	0		0	0
0	Webコンテンツ制作	6	高度なWebコンテンツの制作をチームで行い、応用スキルを習得する。	2	60	4	0		0	0
0	Webコンテンツ制作	7	高度なWebコンテンツの制作をチームで行い、応用スキルを習得する。	2	60	4	0		0	0
0	Webコンテンツ制作	8	高度なWebコンテンツの制作をチームで行い、応用スキルを習得する。	2	60	4	0			0
0	K-pop講座 1		K-popに必要な業界知識、および言語の修得を目指す	2	30	2	0			0
0	K-pop講座 2		K-popに必要な業界知識、および言語の修得を目指す	2	30	2	0			0
0	音楽制作概論 1		音楽制作に関連する職業やその仕組みを理解する。	2	30	2	0		0	0
0	音楽制作概論 2		音楽制作に関連する職業やその仕組みを理解する。	2	30	2	0			0
0	コンサートマネージ ワーク 1	ジメント&ビジネス	集客ツール、集客戦略の知識を学び、かつ企画・実行する力 を養う。	2	60	4	0			0
0	コンサートマネージ ワーク 2	^ジ メント&ビジネス	集客ツール、集客戦略の知識を学び、かつ企画・実行する力 を養う。	2	60	4	0			0
0	Protools Advance	1	レコーディング現場における実践的なProTools使用法を学ぶ。	2	60	4	0		0	0
0	Protools Advance	2	レコーディング現場における実践的なProTools使用法を学ぶ。	2	60	4	0		0	0
0		PA Advance 1	現場で必要なPAの技能をマスターした上で、さらに音を追求していくために必要な高度な技術を学ぶ。	2	90	6		0	0	0
0		照明 Advance 1	コンサートや芝居、ダンスなど様々な照明をシミュレート し、実際に機材を使いながら照明家に必要な知識と技術を習 得する。	2	60	4		0	0	0

0		ムービング Advance 1	ムービングライトに関する知識と技術をさらに深め、即戦力 となる人材を育成する。	2	60	4	0	0	0	
0	コンサートAdvance 1	楽器リペア3	楽器構造、素材の理解力をつけ、内部回線の電気知識も習得する。目利き力を高めるため、ビンテージ楽器などの知識も習得する。	2	##	8	0	0	0	
0		楽器リペア Advance 1	楽器構造、素材の理解力をつけ、内部回線の電気知識も習得する。目利き力を高めるため、ビンテージ楽器などの知識も習得する。	2	90	6	0	0	0	
0		Vecter Works Basic1	舞台図面を制作し、図面作成スキル、空間把握能力、デザインスキルを学ぶ。	2	60	4	0	0	0	
0		照明デザイン 1	照明スタッフに必要なより高度な電気知識や、ステージ照明 の演出効果を学ぶ。	2	30	2	0	0	0	
0		PA Advance 2	現場で必要なPAの技能をマスターした上で、さらに音を追求していくために必要な高度な技術を学ぶ。	2	90	6	0	0	0	
0		照明 Advance 2	コンサートや芝居、ダンスなど様々な照明をシミュレート し、実際に機材を使いながら照明家に必要な知識と技術を習 得する。	2	60	4	0	0	0	
0	コンサートAdvance	ムービング Advance 2	ムービングライトに関する知識と技術をさらに深め、即戦力 となる人材を育成する。	2	60	4	0	0	0	
0	2	楽器リペア4	楽器構造、素材の理解力をつけ、内部回線の電気知識も習得する。目利き力を高めるため、ビンテージ楽器などの知識も習得する。	2	##	8	0	0	0	
0		楽器リペア Advance 2	楽器構造、素材の理解力をつけ、内部回線の電気知識も習得する。目利き力を高めるため、ビンテージ楽器などの知識も習得する。	2	90	6	0	0	0	
0		照明デザイン 2	照明スタッフに必要なより高度な電気知識や、ステージ照明 の演出効果を学ぶ。	2	30	2	0	0	0	
0		PAワークショップ 3	PAエンジニアに必要な仕込みやチューニング、オペレート 等、現場での知識や技術を実践を通して習得する。	2	##	8	0	0	0	
0		照明ワークショッ プ3	学内外の様々な実践現場を通して、照明スタッフに必要な技 術や現場力を習得します。	2	##	8	0	0	0	
0	コンサートテク	舞台制作ワーク ショップ3	学内外の様々な実践現場を通して、舞監/舞台制作スタッフに 必要な技術や現場力を習得する。	2	90	6	0	0	0	
0	ニック 3		学内外の様々な実践現場を通して、楽器テクニシャンスタッ フに必要な技術や現場力を習得する。	2	90	6	0	0	0	
0		舞台監督演習 Advance 1	舞台監督に要求される幅広い舞台制作の知識や基本的な技術 を学ぶ。	2	30	2	0	0	0	
0		イベントスタッフ ワーク3	学校主催の様々なイベントに向けて、企画制作、舞台制作、 運営、動員などセクションに分かれて業務を担当し、実践的 に技術を習得します。	2	60	4	0	0	0	
0		PAワークショップ 4	PAエンジニアに必要な仕込みやチューニング、オペレート 等、現場での知識や技術を実践を通して習得する。	2	##	8	0	0	0	

	1		T	_						_	 	
0		照明ワークショッ プ 4	学内外の様々な実践現場を通して、照明スタッフに必要な技 術や現場力を習得します。	2	##	8		0	C)	0	
0	コンサートテク	舞台制作ワークショップ4	学内外の様々な実践現場を通して、舞監/舞台制作スタッフに 必要な技術や現場力を習得する。	2	90	6		0	C	0	0	
0	ニック 4	楽器テクニシャン ワークショップ 4	学内外の様々な実践現場を通して、楽器テクニシャンスタッフに必要な技術や現場力を習得する。	2	90	6		0	C	0	0	
0		舞台監督演習 Advance 2	舞台監督に要求される幅広い舞台制作の知識や基本的な技術 を学ぶ。	2	30	2		0		0	0	
0		イベントスタッフ ワーク 4	学校主催の様々なイベントに向けて、企画制作、舞台制作、 運営、動員などセクションに分かれて業務を担当し、実践的 に技術を習得します。	2	60	4		0	C	0	0	
0	機材メンテナンス ⁻	1	音響機材をいつでもベストな状態を保つために必要となるメ ンテナンスを学ぶ。	2	30	2	0		C	0	0	
0	機材メンテナンスな	2	音響機材をいつでもベストな状態を保つために必要となるメ ンテナンスを学ぶ。	2	30	2	0		(0	0	
0	舞台機構調整士Ⅱ((1)	ホール管理者にとって重要な国家資格 "舞台機構調整士3級" 取得を目指す。	2	30	2	0		(Э	0	
0	舞台機構調整士Ⅱ(2)	ホール管理者にとって重要な国家資格 "舞台機構調整士3級" 取得を目指す。	2	30	2	0		(0	0	
0	音響学1		音響家にとって必要な基礎の音響理論や電気の基礎知識を学 ぶ。	2	30	2	0		(0	0	
0	音響学2		音響家にとって必要な基礎の音響理論や電気の基礎知識を学 ぶ。	2	30	2	0		(О	0	
0	生楽器知識 1		色々なアコースティック楽器の歴史、構造、演奏法、音色等 を理解し音楽制作やレコーディングにおける楽器に対しての 理解を深める。	2	30	2	0		(0	0	
0	生楽器知識 2		色々なアコースティック楽器の歴史、構造、演奏法、音色等 を理解し音楽制作やレコーディングにおける楽器に対しての 理解を深める。	2	30	2	0		(0	0	
0	Pro tools Basic 1		機材/Pro Toolsの使用方法、基礎を習得 する。	2	30	2	0		•	0	0	
0	Pro tools Basic2		機材/Pro Toolsの使用方法、基礎を習得 する。	2	30	2	0		(Э	0	
0	Vecter Works Adva	nce1	舞台図面を制作し、図面作成スキル、空間把握能力、デザインスキルを学ぶ。	2	60	4	0		()	0	
0	Vecter Works Adva	nce2	舞台図面を制作し、図面作成スキル、空間把握能力、デザインスキルを学ぶ。	2	60	4	0		(Э	0	
0	舞台史 1		演劇、オペラ、ミュージカルなどの舞台の歴史を学ぶ。	2	30	2	0				0	

С		舞台史2	演劇、オペラ、ミュージカルなどの舞台の歴史を学ぶ。	2	30	2	0			0
С)	舞台スタッフ基礎講座 1	舞台制作全般に関する基礎的な知識を学ぶ。	2	60	4	0			0
С)	舞台スタッフ基礎講座 2	舞台制作全般に関する基礎的な知識を学ぶ。	2	60	4	0			0
С)	舞台制作プランニング 1	舞台の制作に関してプランニングから実践までを行う	2	30	2	0			0
С		舞台制作プランニング 2	舞台の制作に関してプランニングから実践までを行う	2	30	2	0			0
С)	コンサート演出研究1	コンサートの演出を広く幅広く学ぶ	2	60	4	0			0
С)	コンサート演出研究2	コンサートの演出をより実践的な立場で行い、知識、技術の 修得を図る	2	60	4	0			0
С)	PA基礎知識 1	PAに関する基礎的な知識と技術を学ぶ。	2	30	2	0			0
С)	PA基礎知識 2	PAに関する基礎的な知識と技術を学ぶ。	2	30	2	0			0
С)	Creater's Recording概論	レコーディングの基礎的な知識を学ぶ。	2	30	2	0			0
С)	韓国語講座 3	国際社会に対応すべく、コミュニケーションをとるための韓 国語を学ぶ。	2	30	2	0			0
С)	韓国語講座 4	国際社会に対応すべく、コミュニケーションをとるための韓 国語を学ぶ。	2	30	2	0			0
C		日本語講座 3	日本国内の職業に対応すべく、コミュニケーションをとるための日本語を学ぶ。	2	30	2	0			0
C		日本語講座 4	日本国内の職業に対応すべく、コミュニケーションをとるための日本語を学ぶ。	2	30	2	0			0
С		明日への扉(キャスト)(1)(2)	ミュージカル『明日への扉』にキャストとして参加。学内 オーディション、学内稽古、外部ホール稽古、本番時のホー ルで、舞台人にとしてのスキルとマインドを身につける。	-	##	15		0		
С)	明日への扉(ダンサー) (1) (2)	ミュージカル『明日への扉』にダンサーとして参加。学内 オーディション、学内稽古、外部ホール稽古、本番時のホー ルで、舞台人にとしてのスキルとマインドを身につける。	-	##	15		0		
С)	明日への扉(BIGBAND)(I)(2)	ミュージカル明日への扉にBigbandとして参加し、学内合奏、 外部ホールRH、本番を通して現場実習力を身につける。	-	##	5		0		
С)	明日への扉(ゴスベル)(1)(2)	ミュージカル明日への扉にゴスペルアンサンブルとして参加し、学内RH、外部ホールRH、本番を通して現場実習力を身につける。	-	##	4		0		

0	明日への扉(会場アナウンス)(1)(2)	ミュージカル明日への扉に会場アナウンスとして参加し、学内RH、外部ホールRH、本番を通して現場実習力を身につけて	_	##	4			0			
0	明日への扉 (劇中バンド) (1) (2)	る。 ミュージカル明日への扉に劇中パンドとして参加し、オーディション対策/楽曲準備などの事前準備、パンド合わせ、 学内RH、外部ホールRH、本番を通して現場実習力を身につける。	-	90	3			0			
0	明日への扉(スタッフ)(1) (2)	ミュージカル明日への扉にスタッフとして参加し、学内での 稽古、外部ホール稽古、本番時のホールで、舞台におけるス キルを身につける。	-	##	5			0			
0	進級制作	進級制作展にスタッフとして参加し、事前リハーサル、本番 を通じて技術を身につける。	-	##	6			0			
0	卒棄制作	卒業制作展の事前リハーサル、本番にスタッフとして、観客 の求めるスキルを身につける。	-	##	6			0			
0	海外卖学研修	海外での実践的な講義やプログラムを通して、国際的な視野 を広げ異文化を吸収・理解する。	-	60	2			0			
0	中間制作(1)	前期で学んだ発声、滑舌、歌、ダンス、楽器演奏を発表する 公演。	_	##	5			0			
0	中間制作(2)	前期で学んだ発声、滑舌、歌、ダンス、楽器演奏を発表する 公演。	_	##	5			0			
0	特別講義(1)~(10)	業界からゲストを招く特別セミナー。	-	18	1	0					
0	イベント出演(1)~(10)	学内外におけるイベント出演。学内イベントはレポートの提 出が必須。学外イベントはコンポジションノートの提出が必 須。	-	36	1			0			
0	現場実習(1)~(10)	業界から依頼を受け撮影/収録(ドラマ・映画・PV・アフレコ・ヘアメイク)へ参加。現場を経験することでプロとしてスキル、マインドを身につける。	-	45	1			0			
0	LIVE・舞台観賞(1)~(10)	学内外のライブや舞台の鑑賞。	-	45	1			0			
0	業界研修 (1) ~ (10)	インターンシップ生として現場に出向き、ビジネスマナーを 身につける。	-	45	1			0			
0	合同企業説明会(1)~(4)	合同企業説明会に臨むために資料を作成し、自身をプレゼン テーションするスキルを身に付ける。	-	45	1			0			
0	デビューブロジェクト (1) ~ (4)	特別講義や資料作成、アーティスト写真撮影を行い、テ ビューへ向けて準備。	-	45	1			0			
0	新人発掘プレゼンテーション (1) ~ (4)	新人発掘に臨むための内容を考え、プレゼンテーションをす る。	-	30	1			0			
0	レコーディング ヴォイスサンブルRec (1) ~ (4)	歌やパンドのレコーディングを行う。デビュー活動の際のフレゼンツールとして使用できるように制作する。	-	45	1			0			
0	業界ゼミ (1) ~ (4)	週4時間の業界セミナーを実施。それぞれの業界の特徴や必要となる人材を伝えてもらい、卒業後の進路に役立てる。	-	40	2		0				

0	インターナショナル プログラム(MIP・DIP)(I)~(4)	Billboard Live等と提携し海外ゲストを招聘する特別ゼミに て、業界における英会話力を高める。	-	16	1		0						
0	各種イベント制作 (1) ~ (4)	学内イベントへのスタッフ参加により視野を拡げ、現場力、 コミュニケーションスキルを身に就ける、	ı	15	1		0						
0	業界研究・職種研究(1)~(4)	業界についての研究・業界内で活動する職種への研究を通じ て、業界知識を理解する。	1	45	1			0					
0	缔妹校単位互换制度	他学科の科目を履修し、業界基礎力を向上させる。 (Wメ ジャー科目を履修し、成績により認定する	1	1	1								
0	他学科単位互換制度	他学科の科目を履修し、業界基礎力を向上させる。 (Wメ ジャー科目を履修し、成績により認定する	-	-	-								
	合計	200科目	1				1870	単位	2時間	引(6)	79単	位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等
学期ごとに試験を行い、また最終学年の終わりには、卒業試験を行う。その授業科目の成績評価及び卒業判定会議の審議に基づき、	1 学年の学期区分 2期
課程修了の認定を行う。ただし、演習、実習については演習、実習の成績によって修了を認定することができる。	1 学期の授業期間 15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。